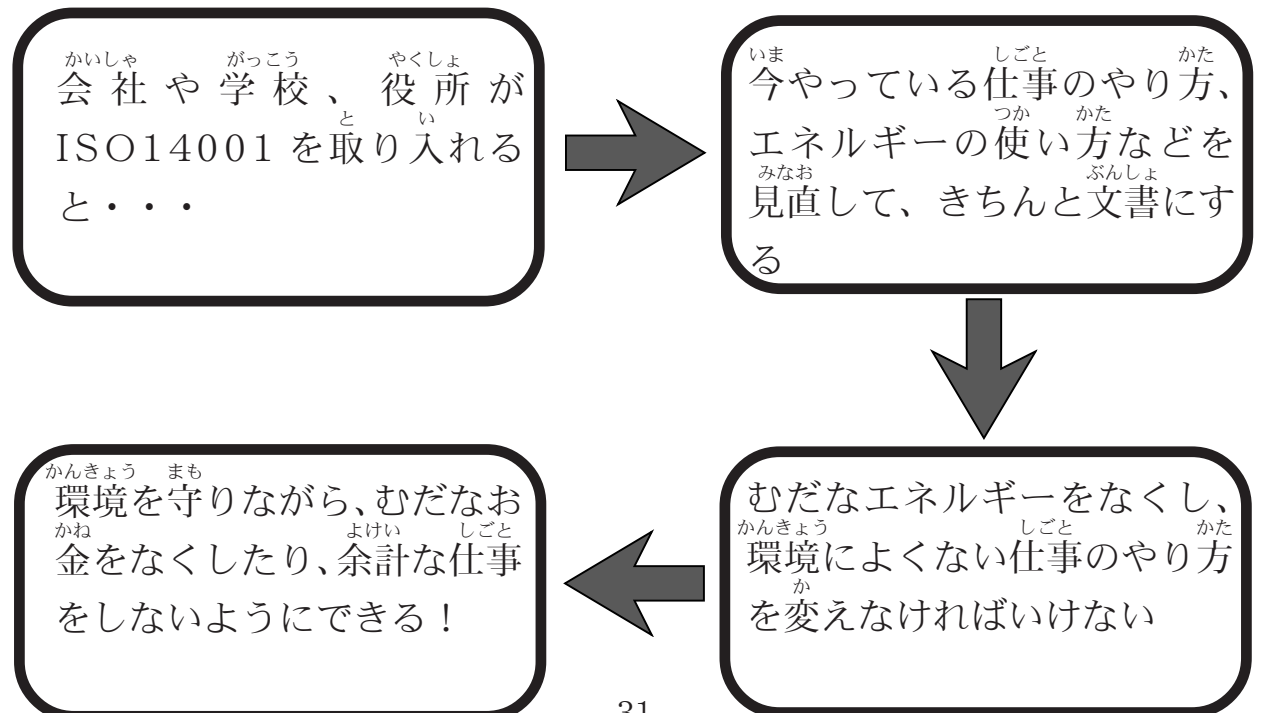


アイ・エス・オー  
**ISO14001って何？**

熊本県水俣市の市役所ではISO14001っていう仕組みを取り入れていたね。ここで出てきたISOっていうのは、正式には国際標準化機構という団体のことなんだ。何をしているかは、例をあげて説明してみよう。カメラとかテレビ、自動車は、いろんな部品を組み合わせでできているよね。その部品は、いつも一つのところでつくられているとは限らなくて、時には別々の国にある工場で作られた部品を組み合わせでつくこともあるんだ。そんなとき、工場や国によって部品の大きさが違っていたら、組み合わせてもちゃんと動かないよね。そういうことがないように、どこの国や工場で作られても同じ部品ができるようにルールを決めておこうってことになったんだ。国際標準化機構はそういう国際的なルールを決める役割をはたしているんだね。

そして、最近では環境への負担を減らすために、いろいろな会社や工場がどんなことをしていけばいいのか、国際的なルールを決めようっていうことになったんだ。その基本的なルールのことをISO14001っていうんだよ。ビデオで紹介されていた水俣市では、まず市役所がこのISO14001を取り入れたんだ。その話を聞いた市内の学校でもやってみようっていうことになって、中学校や小学校でも自分たちのISOを考えて実行しているんだよ。



みなまた ともだち と く アイ・エス・オー ないよう  
**水俣のお友達に取り組んでいるISOはどんな内容？**

みなまたし がっこう 水俣市の学校ではここにあげた18項目に取り組んでいるんだ。みんなは  
 と く どの取り組みができるか、みなまた れい み はな あ 水俣の例を見ながら話し合ってみよう。

- |  |  |
|--|--|
| <p>1. 紙の消費を押さえ再生紙を利用します</p> <p>2. 空きかん・空きびんなどをリサイクルします</p> <p>3. トイレで水を節約します</p> <p>4. 手洗いや歯みがきの水を節約します</p> <p>5. 清掃時の水を節約します</p> <p>6. 給食での水を節約します</p> <p>7. 照明のスイッチをこまめにきります</p> <p>8. 清掃時のお湯の使用を節約します</p> <p>9. 冷暖房機器(ストーブやエアコン)の使用を節約します</p> <p>10. 清掃時の洗剤の使用を減らしている</p> | <p>1 1. 燃やすゴミを減らします</p> <p>1 2. 清掃時の排水を減らします</p> <p>1 3. 給食の残飯をきちんとかたづけます</p> <p>1 4. 校内放送の使用を配慮します</p> <p>1 5. 校舎・校庭の美化作業につとめます</p> <p>1 6. 環境に関する催しや活動に参加します</p> <p>1 7. 環境について学習します</p> <p>1 8. 自然(海・山・川)に親しみ、学び、知ります</p> <p>みんなの学校ではどれができそうかな？他にも考えられることがあるかもしれないね。どんなことができるか考えて、実行してみるといいね。</p> |
|--|--|

みんなの考えた取り組み表の例 年 組 ○○子

○：できた ×：できなかった

みんなの考えた取り組み	月/日	月/日	月/日	月/日	月/日
1.					
2.					
3.					
4.					
5.					
6.					
7.					
8.					
9.					
10.					

## ISO14001 を実行するための環境方針およびPDCA サイクル

・**環境方針**：ISO14001では、まず最高経営者（社長・市長・学長・校長など）が、組織の環境方針を定めることが要求されます。環境方針には、組織の使命・展望・価値観などを明記します。それとともに、組織の活動や製品、サービスが環境とどのように関わり、どのような影響を与えるのか、環境への負荷を減らすために、継続的にどのような取り組みを実行するのかを明らかにします。

・**計画 (Plan)**：この環境方針に基づいて、組織はどのような行動計画によって、環境負荷を減らしていくか、具体的な計画を文書によって示さなければなりません。ここで示される行動には、達成度が定量的に評価できるような目的を明記することが要求されます。

・**実施・運用 (Do)**：組織の各部署が計画を実施・運用します。その際には、各部署の実行責任者を決め、組織の全員が計画を理解して運用に当たります。必要に応じて、そのための研修や各部署の連絡体制、運用記録の作成・管理を行うとともに、不測の事態に備えた体制の確立や、外部組織との協力も必要となります。

・**評価 (Check)**：実施・運用状況の確認、特に環境に大きな影響を与える活動の監視や測定を行います。また、当初に設定した目標の達成状況、不測の事態が発生した場合は、その原因と対策の実施などを行います。

・**実行 (Action)**：最高経営者は、運用されている環境マネジメントシステムの有効性、妥当性、関連する外部状況の変化を検討し、継続的かつ効果的なシステムの改善を行わなければなりません。

以上のサイクルを実施するに際して、関連する法律や規制を遵守すること、全過程が明らかになるような文書を作成しておくことも必要となります。

## 水俣市における学校版 ISO

・水俣市では、工場廃液に含まれていた有機水銀の汚染によって、水俣病という深刻な公害に見舞われました。これを教訓とし、二度と同じような環境問題を引き起こさないように、地域全体で環境問題に取り組んでいます。その一環として1999年には、水俣市役所がISO14001の認証を取得しました。さらに、家庭版や学校版のISOを考案して、現在では市内の全小中学校が、独自の環境マネジメントシステムを実施しています。

・このテキストでは、水俣市立第二中学校で展開されている学校版ISOの内容を紹介しました。

・取り組みやすい課題としては、児童用のテキストに掲げた目標以外にも、以下のようなものがあります。学校生活だけに限らず、家庭でも実行できるような目標を話し合っ、実行してみてください。

- 1) ものを簡単に捨てずに、修理したりして大切に使う。
- 2) ものを買うとき、本当に必要かどうかもう一度よく考えてから買う。
- 3) ものを買うとき、ゴミになりにくいもの、少ないエネルギーで使えるもの、長く使えるものを買う。
- 4) 家ででの生活でも、学校と同じように、エネルギーを節約するよう心がける。節約の結果が、光熱費にどのように現れるか、グラフなどで表してみる。
- 5) 入浴などは続いて入り、沸かし直しをしないようにする。
- 6) 石油化学製品より、天然素材の製品を買う。

# ゴミにならないものづくりの学習内容

## リフューズの促進～企業からの取り組み～

すでに紹介したように、これまでの社会では、できるだけやすいものを大量に生産して消費するという経済活動が中心でした。あるいは、より品質のよいものを安い価格で大量に供給することが、企業の役割でした。その結果、頻繁にバージョンアップやモデルチェンジがあり、これにあわせて生産・消費のサイクルも早くなります。反面、一つの製品を長期間利用したり、リサイクルやリユースを含む中古製品が、市場で大量に出回るといことも、企業の活動にはなじみにくかったと言えるでしょう。この点が、グリーン購入の促進、あるいはリフューズを促進することに対して、企業が消極的になる大きな要因でもありました。

ここでの学習では、子どもたちに、両親が働いている職場ではどのような環境対応がされているかを取材してもらい、その結果を発表してもらうこともご検討下さい。ただし、環境に配慮していないからだめなのだ、という結論にはならないように配慮して下さい。その場合は、その理由も含めて紹介してもらい、みんなで対策を考えることが望ましいでしょう。

循環型社会においては、上記のような生産・消費活動は転換を迫られることとなります。すでに日本でも、先進的な企業は廃棄物を出さない生産工程を考え、運用を開始しています。ビデオで紹介したコピー機のメーカーは、使用済み製品のほぼ100%を廃棄に回すことなく利用しています。製品や部品の再利用に際しても、環境負荷が少なくなるような方法を取り入れています。下の図を「コメットサークル」といいます。サークルの内側のループになればなるほど、環境負荷は小さく、望ましい資源循環のあり方といえます

水俣市では、ビデオにも紹介されていたように、5年以上環境負荷を減らすもの作りをしている人に、「環境マイスター」という称号を与える制度を取り入れました。このほかにも、不必要なトレーを減らすなど、環境に配慮した製品販売を行っているお店を「エコショップ」として認定するという制度も運用しています。

山梨県の国母工業団地では、団地内の23社から排出される廃棄物をできる限り減らし、団地から外への廃棄物の流れを最小限にする試みを行っています。

このほかにも、グリーン購入法や各種のリサイクル法に対応するために、様々な業種・企業で、ゴミにならないもの作りへの試みが始まっています。

学校や子どもたちの家の周辺、ご両親の勤務する会社で、水俣市や国母工業団地と同様の事例があるかどうか、調べてみて下さい。何もないとしても、子どもたちがこのような調査をしているということ自体が、企業活動を変えていくきっかけになるかもしれません。

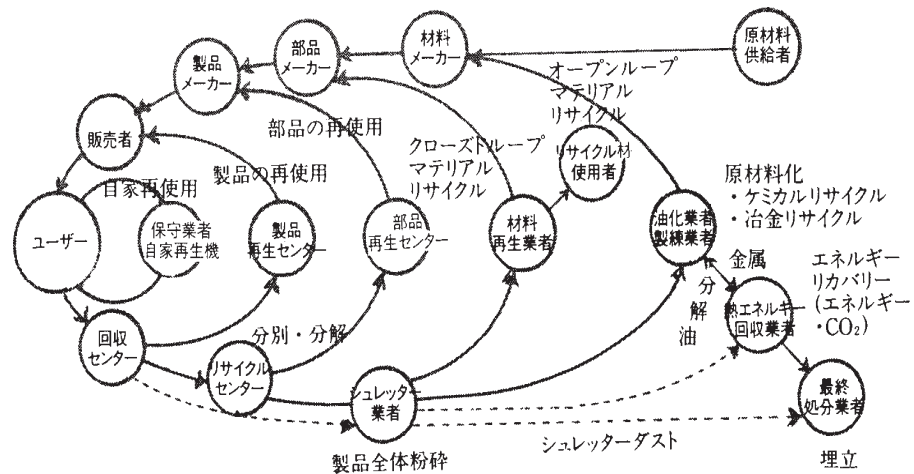


図3・5 リコーの提唱する環境活動コンセプト「コメットサークル™」  
 (「リコーグループ環境白書2000」)

21世紀のライフスタイル3・循環型社会への提言(108ページより)

## ゴミにならないものづくり

みなまたし げんりょう のうやく かがくひりょう つか のうぎょう  
水俣市では、ゴミの減量や農薬や化学肥料を使わない農業をしている  
のうか かんきょう よご どりよく ねんいじょう ひと  
農家、つまり環境を汚さないように努力して5年以上ものをつくっている人  
たち、<sup>かんきょう</sup>「環境マイスター」という称号をだしていたね。

やまなしけん こくぼこうぎょうだんち  
山梨県の国母工業団地ではどうだったかな？ここでも、できるだけゴミを  
だ  
出さないでいろいろなものをつくる<sup>とく</sup>取り組みをしていたね。

ぶんかい ぶひん いちどつか あたら き つく かいしゃ  
分解した部品をもう一度使って、新しいコピー機を作っているの会社のこ  
おぼ  
とは覚えていたかな？

スーパーマーケットでもゴミになるものをなるべく<sup>すく</sup>少なくしようと<sup>うりば</sup>売場の  
くふう  
工夫をしているところもあったよね。

しら  
調べてみよう！<sup>かんが</sup>考えてみよう！

★ みんなの<sup>まわ</sup>周りで、ゴミにならないものづくりに<sup>とく</sup>取り組んでいる<sup>ひと</sup>人たちを  
み  
見つけてみよう。

★ みんなの<sup>み</sup>身の<sup>まわ</sup>回りで、ゴミになりにくいものって、どんなものがある  
さが  
か探してみよう。

★ <sup>かんきょう</sup>環境を汚したり、<sup>よご</sup>こわしたりしない<sup>せいひん</sup>製品にはどんなものがあるんだろう

★ みんなの<sup>いえ</sup>家の<sup>ちか</sup>近くにはゴミになりにくいように、ものを<sup>う</sup>売っている<sup>みせ</sup>お店  
しょくひん  
(<sup>しょくひん</sup>食品の<sup>つつ</sup>トレイをなくしたり、<sup>かた</sup>包み方を<sup>かんたん</sup>簡単にしている<sup>みせ</sup>お店)はあるかな？

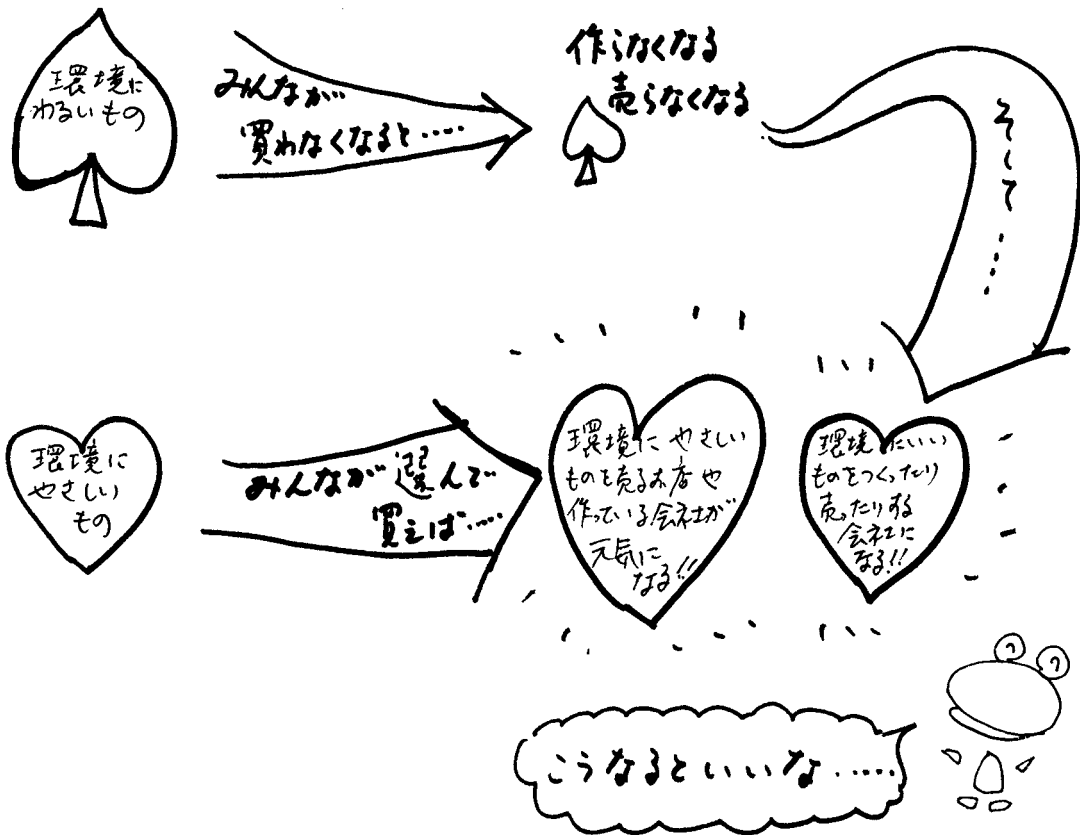
★ いっぱいものをつくらなくても、<sup>う</sup>安心して<sup>あんしん</sup>生活できる<sup>せいかつ</sup>社会にする  
しゃかい  
ためには、<sup>う</sup>どうしたらいいだろう。

★ <sup>ともだち</sup>友達や<sup>せんせい</sup>先生、<sup>とう</sup>お父さん、<sup>かあ</sup>お母さんとも<sup>はな</sup>話し合ってみよう。<sup>あ</sup>

# ゴミを買わないお買い物～グリーンコンシューマーになろう

からだ かんきょう  
 体や環境にやさしいもの、ゴミにならないものを選んで買おうとする人たちのことを、グリーンコンシューマーっていうんだよ。グリーンは日本語でみどり みどり ちきゅう たいせつ いみ こ  
 は緑のことで、緑がいっぱいある地球を大切にしようっていう意味が込められているんだ。コンシューマーっていう英語は、日本語では消費者、ものをかうひと  
 を買う人たちを意味しているんだ。つまり、お父さんやお母さんやみんなも、みせ なに か しょうひしゃ  
 お店で何かを買うときは、消費者になっているんだよ。このふたつの言葉をあ ちきゅう かんきょう ふたん じぶん けんこう き つか か  
 合わせて、地球の環境に負担をかけず、自分たちの健康にも気を使った買い物をする人たちのことを、グリーンコンシューマーっていうんだ。

グリーンコンシューマーがふえるといいね。



★ みんなのお父さんやお母さんは、グリーンコンシューマーかな？

# ゴミを<sup>か</sup>買わないお<sup>か</sup>買<sup>もの</sup>い物～グリーンコンシューマーになろう の学習内容

## 容器と包装の値段

みなさんは買い物をするとき、容器や包装にどれだけお金を支払っているか、考えたことがあるでしょうか？例えば、白色の食品トレー（中型）は4円、柄付きトレー（中）・約15円、カップラーメン・約40円、ペットボトル・約62円、ポンプ式シャンプー・約137円というように、容器や包装にもお金はかかっています。不必要な容器や包装を減らすだけでも、ものの値段はずいぶん下げられるのかもしれませんが。環境負荷を減らすという視点だけではなく、容器や包装のコストという視点からも、このテーマを考えてもよいでしょう。

## お店を変えるグリーン購入

再生紙で作られたトイレットペーパー、ダイオキシンの発生しにくいサランラップ、詰替用のパックが使える洗剤やシャンプーなど、最近では環境に配慮した商品が増えています。学校や子どもたちの家の周辺ではこうした製品がどのくらい見つかるか、スーパーマーケットやコンビニエンスストアでは、どのくらいこうした商品を扱っているか、調査をしてみましょう。

環境に配慮した製品、体に害を与えない安全な食品や製品を選ぼうとしても、いつもいくお店にはそうした製品がおいていないという場合があるかもしれません。以前は、その理由として、商品のニーズがないからといわれました。京都のNPO「環境市民」の調査によると、こうしたお店の姿勢を変えていくには、利用者の5%が要求するようになればよいということです。「環境市民は」では、京都市内の全小売店を対象として、環境と健康に配慮した商品販売を行っているかどうかを調査し、その結果を公表しています。さらに、「グリーンコンシューマー全国ネットワーク」というNGOでは、全国のスーパー・コンビニエンスストア・生協を対象として、同様にエコロジー度チェックを行いました。着目した点は、以下の通りです。

### 購入できる商品のチェック

- 1) 古紙・再生紙100%のトイレットペーパーやノート
- 2) 塩ビなし消しゴム
- 3) 電球型省エネ蛍光灯
- 4) 選択・台所用石鹸
- 5) 石鹸シャンプー
- 6) 石鹸歯磨き・界面活性剤なしの歯磨き
- 7) 有機農産物の信頼性対策が優秀
- 8) 合成添加物を含まないハム
- 9) 遺伝子組み換え原料不使用
- 10) 無添加食パン
- 11) 無添加ポリエチレンラップ
- 12) レジ袋有料
- 13) はかり売り

### お店の販売姿勢

- 1) 安全な食べ物の販売
- 2) ダイオキシン対策
- 3) 地球温暖化対策
- 4) 地域との交流

子どもたちとともに、これ以外にもチェックできる項目がないかどうか、話し合ってください。また、こうしたチェックリストをもとにして、実際に学校や家の周辺のお店を見学することを計画・実行して下さい。

こうした試みを通じて、グリーン購入のあり方を学習することが大切です。

・子供用テキストにある「みんなはどっち」の絵の中で、

- 1) すぐにゴミになるもの
- 2) リサイクルがうまくできないもの
- 3) 使うと川や海を汚すもの
- 4) 大切な資源をむだ使いしているもの
- 5) 使ったり食べたりすると体によくないもの

などをあげてもらい、なぜそうなのかを一緒に考えてみて下さい。これ以外にも、前ページで紹介した「エコロジーチェック」の内容も参考にして、グリーンコンシューマー的な製品とそうでない製品をいくつ見つけられるか、お店の見学、家庭での買い物の際に考えさせるように促して下さい。

・商品のどこを見れば参考にできる情報があるのかも、話し合ってください。いくつかの商品を例にして、品質や品質・原材料表示などを比較してみるのも良いでしょう。学校版ISOとの関係では、学校で購入している備品や消耗品を、子どもたちとチェックすることもできます。

・こわれた机や椅子の修理を下さる用務員さんなどのお話も、ぜひ子どもたちと一緒に聞いて、昔ながらの「ものを直して大切に長く使う」というライフスタイルの再評価をして下さい。最近では、地域のコミュニティの中で、おじいさんやおばあさんから昔のライフスタイルを話してもらえる場を設けているところもあります。地元でそうした場所がある場合は、子どもたちと利用することもよいでしょう。

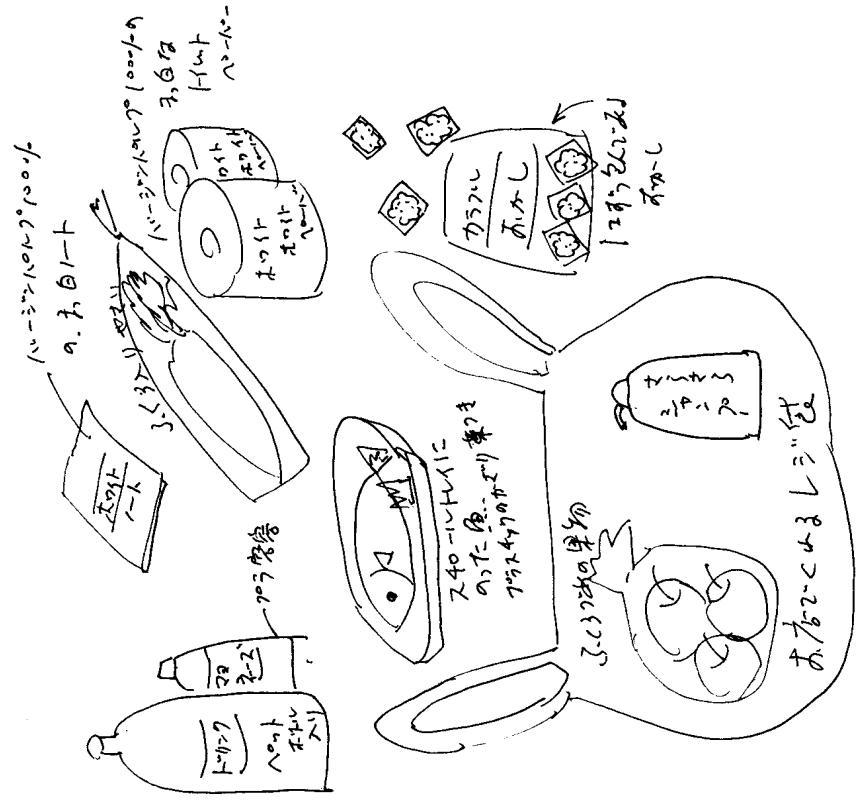
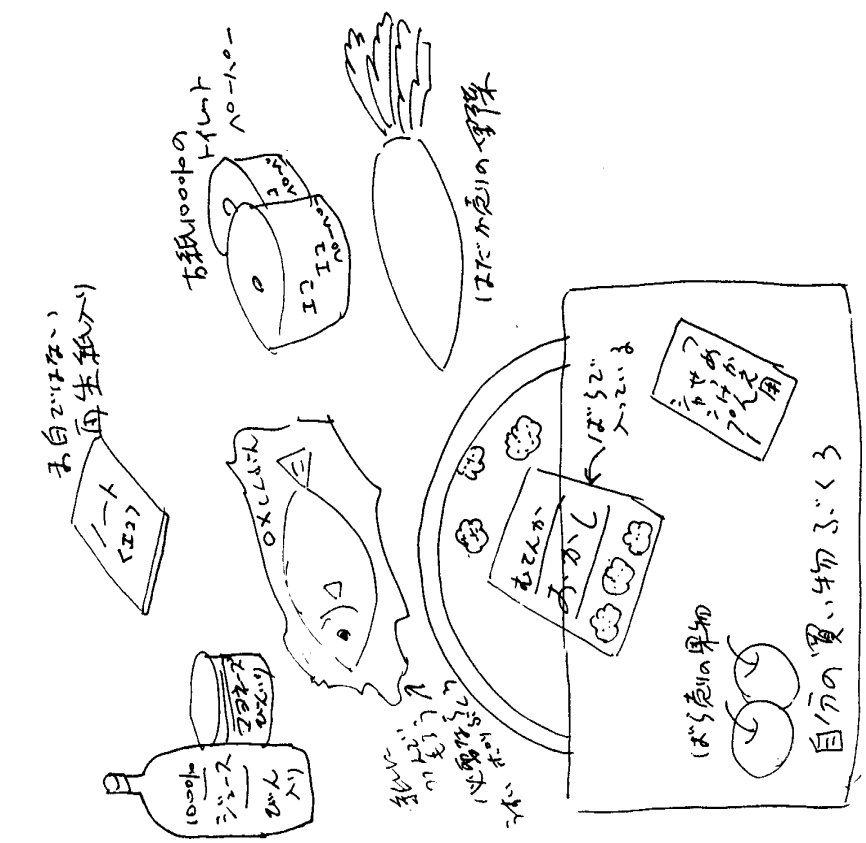
・発展的な取り組みとしては、スチューデント・カンパニー・プログラム (SCP) を活用して、子どもたち自身で、環境に配慮した商品としてどんなものが企画できるかを体験してもらうこともできます。



# みんなは どっち??

グリーンコンシューマーズの  
お買い物

ふくわの人の  
お買い物

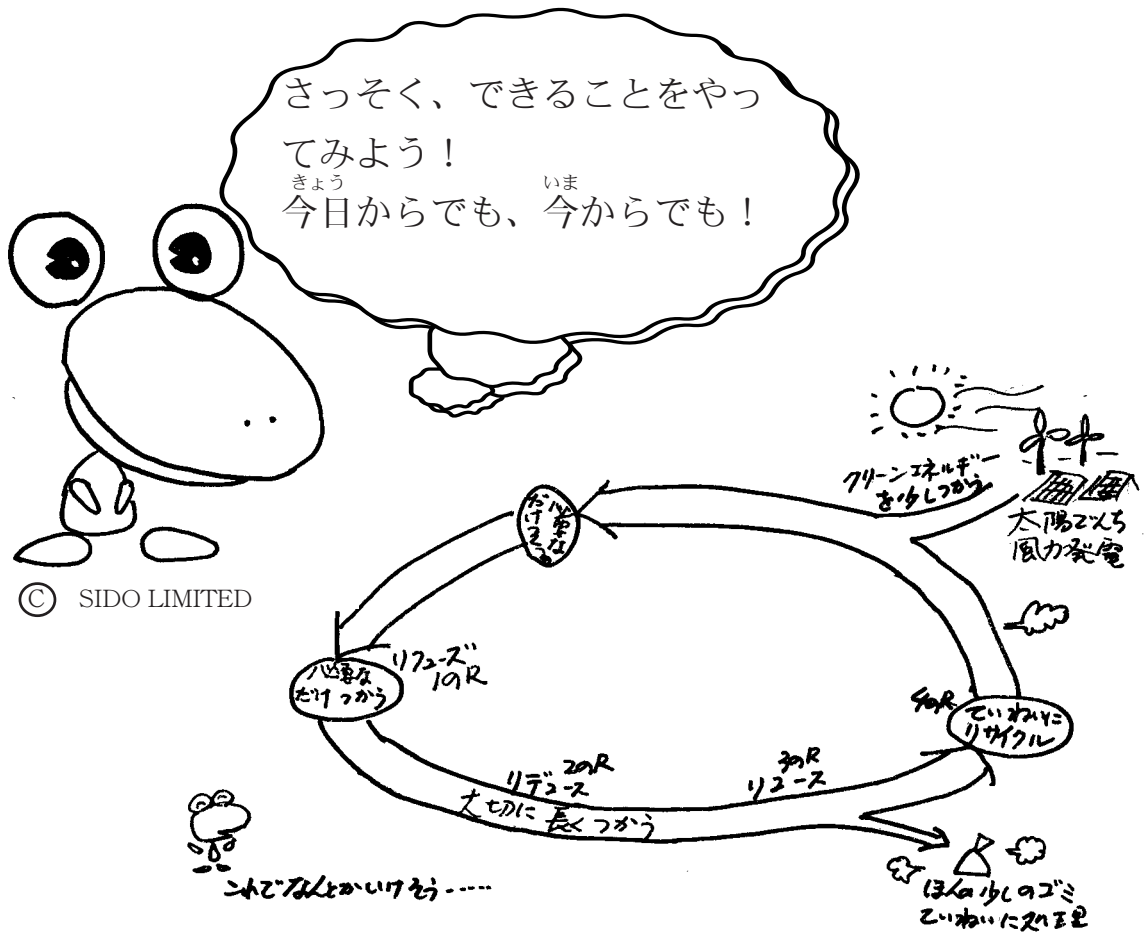


# たくさんの人に伝えよう！

このテキストとビデオで、みんなはいろんなことを考えたり調べたり、話し合ったりしてきたね。みんながこれからつくっていく循環型社会ってどんなものか、わかってきたかな？

せっかく学んだり考えたりしたことだから、今度はなるべくたくさんの人に伝えてあげようよ。たとえばものを作る会社やお店のの人に「こういう環境にやさしいものをつくったり売ったりしてください」って、みんなの手紙を書きつけていうのはどうかな？

お父さんやお母さん、役所の人たちにも、「こうするとゴミが減るんだよ」って、みんなのアイデアを伝えるのもいいね。



© SIDO LIMITED

## たくさんの人に伝えよう！ の学習内容

考えたこと、学んだこと、調べたことを、学内だけではなく、地域のコミュニティや行政、商店などへも発信する事も考えて下さい。最初に述べたように、このテキストとビデオを通じて進めていただきたかったことは、子供たちと共にすすめる「未来学習」でした。いろいろなことを話し合い、調べたりした結果、子供たちは予想もつかない発想をするかもしれません。その中には、学校や家庭だけではなく、企業や自治体で取り入れてもよいアイデアがないでしょうか？

このテキストで紹介した水俣市の学校版ISOは、市役所の方が中学校で講演した内容を受けて、生徒たちが話し合った結果、具体的な取り組みを行いたいということで実現したものです。

大人たちも「こうなるといいけれど・・・」と書いていても、なかなかその考えを表明する機会がなかったり、あきらめたりはしていなかったでしょうか？ぜひこの機会に、子供たちといっしょに自信を持って様々な働きかけをしてみてもはどうでしょうか。

このテキストの中では、学校版ISOの事例を紹介しました。この他にも、

- 1) お店のエコロジーチェックの結果を、学校や家庭でも使えるようなパンフレットにして地域のコミュニティセンターなどで見てもらう。
- 2) 学校のホームページや広報誌などで成果を紹介する。
- 3) 見学・調査に協力してもらったお店や工場に、まとめた結果や感想を、お礼と共におくる。

などの活動も試みて下さい。

さらに可能ならば、行政機関や企業、商店などで積極的にグリーン購入を促進できるように働きかけても良いでしょう。子どもたちからの要望が、一つでも二つでも受け入れられるとしたら、循環型社会へ少しでも近づくことができます。

@このテキストでは、子供用テキストの各ページで、どのようなことを学習してほしいか、あるいは、どのような情報を参考にしていただけるかを紹介してきました。その他にも、それぞれの内容についてさらに詳しい情報を得るための参考になるホームページや書籍を最後にまとめて掲載しています。必要に応じてその内容も参考にして下さい。

## 参考にできるウェブサイト・書籍一覧

### ホームページ：

EIC ネット <http://www.eic.or.jp/>  
エコシティー21 <http://www.ecocity21.com/>  
エコどこなび <http://machi.goo.ne.jp/eco/>  
エコロジーオンライン <http://www.eco-online.org/index.shtml>  
エコロジーシンフォニー <http://www.ecology.or.jp/index.html>  
化学物質の環境汚染 <http://www.kiken-kaihi.org/doxin.html>  
環境影響と効用の比較評価に基づいた化学物質の管理原則 <http://www.kan.ynu.ac.jp/~masunaga/rmg/hpmasu.html#dxanal2>  
環境学習広場 <http://www.ecosanc.or.jp/recycle/r02-03.html>  
環境関連サイトリンク集（経団連） <http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/topics/kankyo/link.html>  
環境情報ガイド <http://www.eic.or.jp/eig/>  
環境政策・経済学会 <http://www.soc.nii.ac.jp/seeps/index.html>  
（株）環境総合研究所 <http://www.eri.co.jp/>  
環境を考えるページ ECO5 <http://home.interlink.or.jp/~tsark/opinion/environment/index.htm>  
グリーン購入ネットワーク <http://eco.goo.ne.jp/gpn/index.html>  
自然環境フォーラム <http://www.nifty.ne.jp/forum/fenv/indexinr.htm>  
ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 <http://www.kokumin-kaigi.org/>  
ダイオキシン関連情報サイトへのリンク <http://www.nihs.go.jp/cheminfo/link-dioxin.html>  
WWF ジャパン <http://www.wwf.or.jp/wetland/decreasefrog.htm>  
東京都立衛生研究所 <http://www.tokyo-eiken.go.jp/>  
2. 特集:可燃性廃棄物を熱利用する廃棄物焼却処理技術の動向と課題 <http://www.nistep.go.jp/achiev/ftx/jpn/stfc/stt003j/feature1.html>  
一廃棄物に関する都市政策研究会平成9年度報告一 <http://www.mayors.or.jp/opinion/teigen/haikibutu/haikibutu-index.html>  
包装と廃棄物・環境の情報サイト（日報） <http://www.nippo.co.jp/>  
両生類保全研究資料室 <http://www.hc.keio.ac.jp/~fukuyama/frogs/>

### 書籍：

奪われし未来 増補改訂版 2001年 シーア・コルボーン他 翔泳社  
グリーンコンシューマーになる買い物ガイド 1999年 グリーンコンシューマー全国ネットワーク 小学館  
環境技術で生き残る500企業 1999年 武末高祐 ウエッジ  
環境と健康のためのものえらび店えらび グリーンコンシューマーガイド 1999・京都 1999年 環境市民  
新版 子どもにできる地球にやさしい24時間 1998年 林佳恵・根本悦子・天笠啓祐他 学陽書房  
ダイオキシン 1999年 宮田秀明 岩波書店  
ダイオキシンから子どもを守る100の知恵 宮田秀明（監修）主婦の友社  
ダイオキシン類対策 第2次提言・食品母乳対策 1999年 ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議資料  
だれにでもできる生ゴミ堆肥化大作戦 有機農産物普及・堆肥化推進協会（編）合同出版  
地球環境報告1997年 石弘之 岩波新書  
地球環境報告II 1999年 石弘之 岩波新書  
地球と子どもたちへの環境パスポート 今すぐできる30の方法で地球を救おう 2000年（株）柳田耕一（監修）  
ほんの木  
21世紀のライフスタイル1 ゴミ・リサイクル・ダイオキシン 1999年 北野大他 研成社  
21世紀のライフスタイル2 環境・暮らし学 2000年 北野大他 研成社  
21世紀のライフスタイル3 循環型社会への提言 2002年 北野大他 研成社  
プラスチック 三島佳子（日本消費者連盟監修）2001年 現代書館  
プラスチックゴミの危うさー化学の眼でみた焼却・埋立・リサイクル 2000年 安東毅 自治体研究社  
みんなではじめる環境イエローページ 1999年 沼澤将夫 NECクリエイティブ  
宮田秀明のダイオキシン問題Q&A 1998年 合同出版

よくわかるダイオキシン汚染 1998年 宮田秀明 合同出版

リサイクルしてはいけない 2000年 武田邦彦 青春出版社

浪費が止まるドイツ節約生活の楽しみ 2000年 サンドラ・ヘフェリン 光文社

雑誌:

環境機器 (宣伝会議)・環境会議 (宣伝会議)・日経エコロジー (日経BP社)・環境自治体 (日本工業新聞社)

ビデオ・テキストを利用した授業計画案

時間	目次 (子供用テキスト)	教師の支援	学習アイテム	評価の観点	活動の主旨
1時間	10年後のみんなはどんな社会に生きていくの?	この学習には失敗がないこと、正しい一つの答えは用意されていないことを伝える	テキスト・ビデオ	未来学習という視点を意識づけられたか?	この学習では、一つだけの正しい答えは用意されていないことを、教師も生徒も確認すること。10年後、20年後の未来を自分たちでつくっていくという認識を共有すること。
3時間	「家と学校のゴミをチャットしてみよう」～「いま、日本のゴミ問題はどんな問題になっているの」まで	ビデオに加えて、地元の実情も紹介する。 生徒とともに、楽しみながら身の回りのゴミを調べる	ビデオ・テキスト・インターネット・関連図書 テキスト	ゴミ問題の現状を理解したか? 自分の生活とゴミ問題の関係を理解できたか?	日本全体や地域の自治体などで排出されるゴミの種類と量、将来の見通し、循環型社会への移行の必要性を理解する。 家庭や学校から排出されるゴミの種類と量を調べ、その行方がどうなるか、処理の仕方と生活との関係を学習する。
1時間	ダイオキシンってどんなもの?	見学先の決定と・見学内容の確認など	見学先の資料	同上	家庭や学校から出されたゴミがどのように処理されているのか、あるいは商店で販売されているものの中からどんなものがゴミとなるのかを、見学や調査を通じて理解する。
1時間*1		科学的知見をわかりやすく伝える	ビデオ・テキスト・インターネット・関連図書	ダイオキシンの特徴を理解できたか?	ダイオキシンという物質の特徴・総量で人体に悪影響を及ぼすこと、ゴミ焼却によって発生すること、生態系を通じて濃縮されること、胎児や幼児にも母親から渡されることなどを理解する。
2時間	「4つのRについて考えてみよう」～「子どもさんリサイクルすればいいの?」まで	課題の列挙と問題点の整理	テキスト・ビデオ	4Rの内容を理解できたか?	四次まで学習した内容をまとめ、日常生活から出てくるゴミの種類や量、それを処理する場合の問題点、ゴミをへらすための課題を考える。
2時間*2	「ISO14001って何?」～「水俣のお友達を取り組んでいるISOはどんな内容?」まで	具体的な事例の紹介	テキスト・インターネット・国民会議会員からの講師紹介など	ISO14001についての講師紹介	ゴミ処理の現状から、循環型社会への転換のために必要な4R (Refuse, Reduce, Reuse, Recycle) の考え方を学習する。特に4Rの優先順位、リサイクルの問題点、リデュースを阻む要因などについて、理解を深める
2時間	「ゴミにならないうつくり」～「ゴミを買わないお買い物」まで	学校全体での取り組み方を考えて、できるものを実行する。	ISO14001についての講師紹介	環境管理システムの考え方を理解できたか?	ISOとはどんな考え方で、すでに実行されている事例にはどのようなものがあるかを学習する。理解を深めるために、考え出されたプログラムを実行する。
2時間	「ゴミにならないうつくり」～「ゴミを買わないお買い物」まで	企業や店舗などの見学先・見学内容の確認など	ビデオ・テキスト・インターネット・関連図書・国民会議からの講師紹介	グリーンコンシューマーマーのあり方を理解できたか?	環境に配慮した製品にはどのようなものがあるか、そうした製品の販売・購入を促進するにはどうしたらよいかを理解し、実行する。
1時間	たくさんの人に伝えよう	学習成果のアウトプット作成	ビデオ・テキスト・インターネット・関連図書	将来に向けての具体的な行動につながったか?	将来あるべき循環型社会の具体的なイメージを持って、自分たちがどのように行動していくとよいかを理解する。さらに、家庭や学校でその行動を実行できるように働きかける。

\*1) ゴミ問題のまとめとして1時間をとるようにしましたが、その前の3時間の中でまとめてしまってもかまいません。

\*2) ISOの内容は、全体の時間を動員して別のプログラムとして検討していただいてもかまいません。

この環境教育ビデオセット製作に当たって、以下のみなさまから取材へのご協力および貴重なアドバイスをいただきました。多くのみなさまのお力添えで完成できましたことを、スタッフ一同、深く感謝しております。このページを借りて心よりお礼を申し上げます。

#### 個人：五十音順

青木照美（神奈川県鎌倉市）、秋元智子様（東京都北区）、阿部哲嗣様（東京都港区）、有賀皓一様（山梨県東八代郡）、井草志乃様（埼玉県所沢市）、石井迪男様（山梨県甲府市）、石渡戸真由美様（東京都目黒区）、栄永徳博様（熊本県水俣市）、大野郁宏様（東京都北区）、大原俊子様（神奈川県厚木市）、北浦恵美様（埼玉県所沢市）、関洋一様（熊本県水俣市）、沼田悦子様（熊本県水俣市）、福岡満様（熊本県水俣市）、藤巻眞史様（山梨県八代郡）、淵上学様（熊本県水俣市）、船本正信様（東京都練馬区）、古屋安清様（山梨県中巨摩郡）、前田妙子様（埼玉県所沢市）、松浦満里子様（神奈川県茅ヶ崎市）、丸田清隆様（熊本県水俣市）、溝口昭二様（熊本県水俣市）、山本良一様（東京都港区）、吉原充雄様（山梨県甲府市）

#### 取材協力：五十音順

有賀健康農園、北区リサイクラー活動機構、国母工業団地工業会、ごみ減量女性連絡会議（水俣市）、（株）西友（環境推進室・LIVIN OZ 大泉店）、（株）田丸、東京都23区清掃一部事務組合、東京都新江東清掃工場、水俣市役所、水俣市資料館、水俣エコショップ、（株）横河電機（総合研究所）、（株）リコー

#### 助成金

この環境教育ビデオセットは、（株）日興コーディアル証券、（株）日興アセットマネジメントのご協力でWWFジャパンにより設立された「WWF・日興グリーンインベスターズ基金」、および（株）イオン・フォレストにより設立された「ザ・ボディショップ基金」の各助成金の一部を当てて製作されました。

編集：ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 環境教育チーム（製作・編集責任者：山田久美子・松原健司）（〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-29-5, ダイカンプラザ1F, 環境市民ひろば内 電話：03-5907-1411, ファックス：03-5907-1412, Eメール kokumin@attglobal.net）

製作協力：SIDO（東京都杉並区高円寺南4-2-9, トリイビル 電話03-5378-2061）

イラスト協力：井草志乃（エコネットとみおか）、北浦恵美（中新井の環境を考える会）、山田久美子（ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議）

印刷：大日本印刷

★ 本書を無断で複製・転載することを禁じます。ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 ©